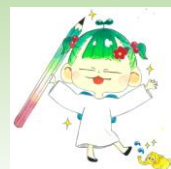




あさひっ子

学校だより 第 7号
令和 8年 9月 30日
鳥栖市立旭小学校
文責 校長 長野 篤志



空への憧れを感じ…

9月26日(土)、旭まちづくり推進センターで、バルーンの係留体験がありました。しかし、あいにくの雨で、バルーンの係留体験は叶いませんでした。そこで、今回は、室内でバスケット(人や機材を乗せる所)にバーナー(ガスを燃やして空気を温める装置)を設置する実演を、説明を交えて行っていただきました。参加した子供たちは、バスケットに入り記念撮影をしたり、バスケットから競技で使われるマーカーを目標に向かって投げたりしながら楽しんでいました。



2026.9.26 室内でのバルーン体験

さて、この催しは昨年度もあり、私は初めて参加しました。その時も、あいにくの雨で、バルーンバーナー体験が行われました。そこでは、雨が上がっていたこともあり、屋外で通常では味わえない貴重な体験(ガスバーナーのレバーに触れ炎を出す体験)をさせていただきました。

北陵高校バルーン部の皆さんと、サガハイマツさんのご厚意により、無事終了することができたことに感謝しています。



2025.9.20 屋外でのバーナー体験

この2年間で、バルーン係留体験に関わってきましたが、実は3年前から継続されてきた企画です。2年前の9月28日、旭小の運動場で右の写真のような係留体験がスタートということでした。当時の資料からは、鳥栖の空にバルーンが浮かぶのはおよそ30年ぶり、この日は市内の小中学生約70人が、つかの間の秋の空中散歩を楽しんだとありました。



2024.9.28 旭小でのバルーン係留体験

私の小学校6年生の将来の夢は「パイロット」でした。来年、旭の空にバルーンが浮かぶ姿を楽しみにしています！

家庭科の授業（地域のご協力）

今年度も、本校の家庭科の授業に地域の「つくしの会」の皆様授業支援をいただいています。

下の写真は、6年生の「ナップザックづくり」の授業の一端です。授業では、板書やICT機器(電子黒板)を使い、分かりやすい授業を行っておりますが、特に技能系の授業では、個人への支援が多く求められます。ご支援いただいている皆様の、温かく細やかな指導に感謝しているところです。

余談ですが、5年生の支援の折に、児童数名が職員玄関に出迎えに来ている姿を見かけました。掃除の後の出来事でしたが、「つくしの会」の方が来られると、「おばあちゃん」「こっちょ」に対して「あら、元気やったね」「ありがとう」等、心が温まる会話が行われていました。「年上だから敬語を使いなさい」というかしこまったものではない、温かい言葉のやりとりが心地よかったです。

本校では、読み聞かせや、昔遊び、村田浮立について等の学びも地域の皆様をお願いしています。今後とも、素敵なお支援・ご協力をお願いいたします。

